

福岡県主催
第2回

地域から考える 再生可能エネルギー 県民シンポジウム



再生可能エネルギーを考えると
新しい社会や暮らしが見えてくる！
再生可能エネルギーの
先進的な取り組みをご紹介します。



〈日時〉平成25年6月30日(日)
[12時開場] [開演] 午後1時～午後5時
〈会場〉**FFGホール**
(旧福岡銀行本店大ホール) 福岡市中央区天神2丁目13番1号

入場料
無料
(定員600名)



お出かけの際は公共交通機関をご利用ください。

●ご参加には事前のお申し込みが必要です。詳しいお申込方法は本チラシ裏面をご覧ください。
お問い合わせ先 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
エネルギー政策室 ☎ **092-643-3148**
県民・事業者の方々や自治体など多くの皆様のご参加をお待ちしております。

〈主催〉福岡県 〈後援〉経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環境事務所、一般財団法人新エネルギー財団、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議、九州グリーンエネルギー産業推進協議会、福岡県省エネルギー推進会議、福岡水素エネルギー戦略会議、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、読売新聞社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、九州朝日放送、テレビ西日本、TVQ九州放送 ※順不同(申請予定)

第2回 地域から考える再生可能エネルギー県民シンポジウム 概要 / スケジュール

東日本大震災の教訓から、エネルギーの多様化・分散化、エネルギーの効率的利用を推進することが喫緊の課題となっています。

エネルギー問題への対応については、これまでは国が主導的な役割を担ってきましたが、これからは、地産地消型エネルギー社会の構築を目指し、地域が主体となって太陽光や風力、水力など地域の特色を活かした再生可能エネルギーの導入促進に取り組むことも必要とされています。

本シンポジウムでは、地産地消型エネルギー社会の実現に向けた認識・手法の共有化を目的に、地産地消型の先進的な再生可能エネルギー導入に取り組む地域の代表者を講師として招き、その取り組み内容や経験(ノウハウ)、今後の課題などを紹介いただくとともに、パネルディスカッションにより議論を深めます。

時間	内容	
12:00	開 場	
13:00	開 演	
13:05	開会挨拶	福岡県
13:15	福岡県の 取り組み紹介	タイトル 福岡県の再生可能エネルギー導入に関する取り組みについて 概 要 福岡県のエネルギーに関する様々な取り組みの紹介
13:35	県内の 先進事例紹介①	タイトル IKEA福岡新宮での再生可能エネルギーの導入 社 名 イケア・ジャパン株式会社 (IKEA福岡新宮) ※地中熱の冷暖房利用、駐車場屋根への太陽光発電導入
13:55	県内の 先進事例紹介②	タイトル 水道施設における新エネルギーの運転状況について 団 体 名 福岡市水道局 ※浄水場への小水力発電、太陽光発電の導入
14:15	休 憩	(質問アンケート回収)
14:30	県外の 先進事例紹介①	タイトル 山形市における下水資源の有効利用 団 体 名 山形市 ※下水汚泥消化ガスを用いた燃料電池発電
14:50	県外の 先進事例紹介②	タイトル 市民再エネ事業奮戦記 -地域資源・地域事業者・地域振興(貢献)- 団 体 名 NPO法人グリーンシティ ※全国の一般住民から出資を募り、市民風車を運用
15:10	経済産業省の 取り組み紹介	タイトル 再生可能エネルギーの動向について 講 師 植木 健一郎 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課長
15:30	休 憩	(質問アンケート回収)
15:45	パネル ディスカッション	タイトル 各主体(県民・事業者・行政)の連携・協働による エネルギー地産地消社会の実現に向けて モデラー 鳥丸 聡 シンクタンク・パードウイング(九州経済社会研究所) 代表 パネリスト 講演者6名(4団体+九経局+県)
17:00	終了	

※講演、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。

県内の先進事例紹介

IKEA福岡新宮

■イケアの環境にやさしい店づくり

世界約40の国に事業を展開する世界最大級のホームファニッシングカンパニーであるイケアは、地球温暖化対策に取り組んでおり、再生可能エネルギーを積極的に導入しています。IKEA福岡新宮では太陽光パネルと地中熱利用システムの導入を始め、氷蓄熱ヒートポンプ、自然光の照明利用、雨水利用などを採用し、より環境に配慮した店舗の開発を行いました。

今後もイケア・ジャパンでは再生可能エネルギーの導入を行う予定です。

福岡市水道局

■新エネルギー等の推進

福岡市水道局では、長期的な運営方針・目標を明確にした「福岡市水道長期ビジョン」を策定し、ビジョンの主な施策として「新エネルギー等の推進」を掲げ、小水力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入による環境負荷の低減を図っています。今まで使用されていなかったダムから浄水場までの高低差による水道原水の位置エネルギーを活用した小水力発電設備、配水池の上部空間に太陽光発電設備の導入を行っています。

県外の先進事例紹介

山形市

■山形市浄化センター消化ガス発電

下水汚泥を嫌気性消化した際に発生する消化ガスを使用し、発電を行っています。また、排熱を回収して消化層の加温などに利用するコージェネレーションシステムとし、化石燃料の削減に取り組んでいます。下水処理場は大量の電力を消費しますが、消化ガス発電により浄化センターで使用する電力量の約60%を賄っています。消化ガスによる発電と排熱利用により、温室効果ガスを年間2,049t-CO₂削減したと試算しています。

NPO法人グリーンシティ

■地域資源「風」を活かした市民風車の運転

「風」は地域の資源、市民出資により市民風車「まぐるん」ちゃんを建設し、CO₂の削減に向けた自然エネルギーの普及・拡大を図るとともに地域振興(貢献)を目指しています。FITへの移行により売電収入が倍増し事業性も好転、当初考えた地域振興(貢献)の実施と、同時に、市民メガソーラー計画も立ちあげ「半農半電」、「半福半電」と、出資に対する分配金を地場産品の活用等で地域振興(貢献)に繋がります。

インターネットでのお申し込み

福岡再エネシンポ

検索

<http://www.f-energy.jp/smp2013/>

お電話・メールでのお申し込み

福岡県 企画・地域振興部 総合政策課

エネルギー政策室
普及支援班

☎ 092-643-3148

e-mail:energy@pref.fukuoka.lg.jp

お申し込み方法
6月21日〆切

FAXでお申し込みの方は

下記欄へ必要事項をご記入の上、お申し込みください。

FAX 092-643-3160

企業名・団体名 学校名		部署・ 役職名	
フリガナ		フリガナ	
氏 名		住 所	
連絡先	(TEL) - - (FAX) - -	E-mail	